

プールのヤゴに会いに行く

6月9日（水）屋上のプールにヤゴを探しにあがりました。

去年はコロナウィルス感染防止のために水泳学習がなく、1年越しです。



水は青々として…
どころか、うす緑色
に濁っています。

ですが、こんな水こそ微生物が多数いる証拠とばかり、プールの角を見ると…



小さな昆虫がたくさ
ん泳いでいます。
コミズムシと思われ
ます。

本命のヤゴたちはいるのでしょうか？

水が濁っていて、よく見えません。あちこちをタモですくってみると…。いました！



大きなヤゴです。



少し小さいものも。



少し体型が違うように
見えます。
トンボの種類が違う
のかもしれません。

浅くて広い入れ物に入れ、羽化するための足場となるものを置いて、一晩おくと…。



早朝、もう成虫になっているではありませんか。



別の場所にも成虫が。

去年、みんなの知らないところで、トンボたちの命のリレーが行われていたようです。

みんなの知らないところといえば、こんなものも拾いましたよ。



大きな羽根です。
ハッ切り画用紙の
対角線ほどもありま
す。

図鑑で見ると、アオサギという大きなサギの仲間の初列風切と呼ばれる部分の羽根によく似ています。アオサギは頻繁に屋上のプールに現れるので、きっと彼らの落とし物に違いありません。



輪ゴムの塊ですが、
絡み方が変です。
鳥の糞か何かの形に
似ています。

食べてしまった輪ゴムが消化できずに糞の中に入っていたものか、ペリットとして吐き戻したものかもしれません。もしそうだとしたら大変です。ビニールひもやポリ袋などは消化できないので、野生動物が餌と間違えて食べてしまわないように気をつける必要があります。

羽化したトンボたち。秋にはまた卵を産んで、今年も命のリレーを行ってくれることでしょう。そっと、見守りたいものですね。